

第3次大分市国際化推進計画

Third Oita City Internationalization Promotion Plan

めざそう！

東九州の国際都市“OITA”

2016年度
(平成 28)

2020年度
(平成 32)

ひろげよう！ 国際交流
つなげよう！ 世界と

大分市中学生サッカー選抜チーム
アベイロ市派遣事業の様子



このパンフレットは概要版となります
本編はこちらでご覧になれます
<http://oita-kokusai.jp/>

国際化の現状

日本の現状

日本は人口減少と超高齢社会を迎え、これから10年以内に600万人近くの生産年齢人口の減少が予測されるなか、このままでは既存の社会システムが立ちかなくなるのではと懸念されています。また、インターネットや交通ネットワークなどの飛躍的な発展により世界の出来事が私たちの日々の生活や活動に大きな影響を及ぼしています。海外旅行が身近になり、輸入品が身の回りにあふれるようになりました。また、最近では訪日外国人観光客数が過去最高になるなど地方においても外国人と接する機会が多くなっています。

海外

- 経済のグローバル化（TPP、RCEP など）
- アジア諸国の台頭
- さまざまなリスク要因（感染症、地球温暖化、サイバー攻撃、国際テロ） など

※TPP……環太平洋戦略的経済連携協定
※RCEP……東アジア地域包括的経済連携

国内

- 少子高齢化の進展
- 生産年齢人口の減少
- 訪日外国人観光客の急増
- ラグビーワールドカップ2019（平成31年）、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（平成32年）の開催 など



大分市を取りまく状況

- 本市では2015（平成27）年を境に人口減少が始まり、今後30年間で3人に1人が65歳以上の高齢者になると予測されています。
- 本市に住む外国籍を有する市民数は2,649人であり、国籍別では中国（982人）、韓国（678人）、フィリピン（306人）、ネパール（141人）の順となります。
- 大分県は人口10万人当たりの留学生数は全国2位です。
- 大分県では2015（平成27）年の外国人宿泊客数は約53万人で前年と比べ60.1%増となり、50万人を超えたのは過去初めてとなります。
- 2019（平成31）年にラグビーワールドカップ日本大会が開催され、本市にある大分スポーツ公園総合競技場も会場となります。世界から多くの観客や観光客が訪れることが期待されます。
- 市民意識調査では「普段の生活の中で、国際化を身近に感じる機会は少ない」など多くのご意見をいただきました。

※2016（平成28）年2月現在

第3次大分市国際化推進計画について

■計画の位置付け

大分市総合計画を上位計画とする個別計画です。国際化推進のための市政運営の指針であるとともに市民共有の指針となります。

■計画期間

5年間

2016（平成28）年4月1日
～ 2021（平成33）年3月31日

■計画の推進

世界・日本・大分市の現状や市民意識調査の結果などから、「めざそう！東九州の国際都市“OITA”～ひろげよう！国際交流 つなげよう！世界と～」を掲げるとともに、基本方針や推進テーマ、施策を設定し、本市の国際化を推進していきます。

基本方針

広く市民がグローバル化のメリットを享受できるよう、多様な文化とあらゆる国籍の人々との共生や国際交流、国際協力を通じて、国際化を担う人づくりに努めます。また、民間の活動を積極的に支援するなど、市民との連携により、本市の個性や魅力を生かした国際化を推進します。

国際化の進展によるチャンスと課題

国際化の進展を生かして、市全体の活力の維持・向上、市民の豊かさの向上につなげていくことができます。

例えば① 外国人と触れ合う機会が増えると…



それは

- 子ども達の世界への関心拡大のチャンス!
- 市民のコミュニケーション能力の向上のチャンス!
- 自分が住む地域の文化や歴史の再評価(郷土意識の高揚)のチャンス!



チャンス
の
到来

- 多文化にふれる機会の増大
- 新たな文化や外国人の流入による地域の活性化
- 外国人の持つ文化や能力の活用
- ビジネス市場の拡大
- 外国人購買力など…

活用
例

- 子ども達の世界への関心拡大
- 市民のコミュニケーション能力の向上
- 地域の文化や歴史の再評価(市民の郷土意識の高揚)
- 市ブランドを世界に向け発信
- 観光客や海外ビジネスによる販路拡大など…

国際化の進展に伴って生じている(あるいは将来生じるであろう)課題に市民とともに取り組む必要があります。

例えば② 外国籍を有する市民が増えると…



対応

- 多言語化や教育課題などの外国籍を有する市民へのサポート
- 市民に対する多文化理解の推進

課題の解決

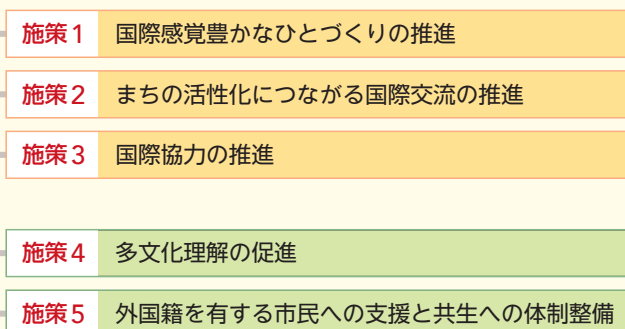
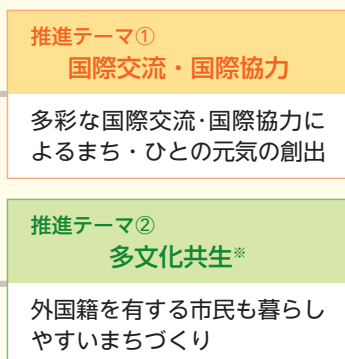


さまざま
な
課題

- 外国人の定住化による教育課題(言葉、習慣、人権)や生活問題(地域とのコミュニケーション、住環境、治安)
- 国際競争の激化による地域経済の停滞
- 環境・食糧・都市問題などの地球規模の課題など…

対応
例

- 市民に対する多文化理解の推進
- 「共生・協働社会」の実現に向けた人権教育・啓発の推進
- 多言語化や教育課題などの外国籍を有する市民へのサポート
- 訪日外国人観光客誘致、市内企業の海外展開への支援
- 世界の平和や発展に関する学習
- 国際協力事業への参加など…



施策ごとの目標は
中面のページへ

*多文化共生とは 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

施策1 国際感覚豊かなひとづくりの推進

目標① 外国人と直接触れ合い、世界へ目を向けよう



ALTが参加した授業風景



宿泊体験「リトル・オースチン村」

■大分市の現状

子どもたちが世界に目を向け、コミュニケーション能力を高める機会として、学校では、外国語指導助手(ALT)が授業へ参加し直接交流を行っています。また、外国人が参加した宿泊体験や、ホームステイを実施しています。

※外国語指導助手(ALT)とは

小学校、中学校における外国語等の授業や活動の補助を行う外国人

■目標に向けて取り組もう!

外国人と直接触れ合う機会を増やし、視野を世界に広げ、チャレンジ精神や多様性を受け入れる力を身につけよう!

※多様性とは

ここでは、多国の文化や習慣などのさまざまな違い

◆「リトル・オースチン村」に参加してみたい
大分市国際化推進室 TEL (097) 537-5719

実現に向けた大分市の取組例

『外国人と直接触れ合える機会の創出』

- ◎小学校低学年へのALT事業の拡大
 - ◎青少年国際理解推進事業「リトル・オースチン村」の定員拡大(小学校5・6年)
 - ◎幼稚園・保育園を対象とした留学生交流事業
- など…

数値目標

★外国人と直接触れ合える事業に参加した子どもの数

実績	22,772人 (2014年度)
目標	40,000人 (2020年度)

目標② 国際化の情報に関心を持とう



大分市国際交流WEB



市報の国際化特集

■大分市の現状

国際化情報ホームページである「大分市国際交流WEB」や市報を使い、イベント情報、語学教室の開催案内などさまざまな情報を発信しています。

■目標に向けて取り組もう!

テレビや新聞、インターネットなどにある身近な国際化の情報に関心を持ち、大分市と世界とのつながりを意識しよう!

◆大分市国際交流WEB(日・英・中・韓)
<http://oita-kokusai.jp/>

実現に向けた大分市の取組例

『身近な魅力ある情報の発信』

- ◎「大分市国際交流WEB」のリニューアル
 - ◎Facebookの活用
- など…

数値目標

★「大分市国際交流WEB」のアクセス数

実績	63,364アクセス/年 (2014年度)
目標	100,000アクセス/年 (2020年度)

施策2 まちの活性化につながる国際交流の推進

目標① 海外からの観光客を「おもてなし」し、大分市のファンを増やそう



大型クルーズ船による観光客



ラグビーワールドカップ
交流スペース「ファンゾーン」

■大分市の現状

増加する外国人観光客に対して、外国人向け旅行情報誌への特集記事の掲載や外国語版観光パンフレット製作のほか、大分市観光協会や県などと連携し、国外の旅行会社及び国際観光展でのプロモーション活動、外国語版ホームページへの情報掲載などに取り組んでいます。

■目標に向けて取り組もう！

ラグビーワールドカップ2019（平成31年）の大分開催や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（平成32年）などを好機ととらえ、本市の伝統文化の紹介やボランティアに参加するなど、海外からの観光客を「おもてなし」し、大分市のファンを増やそう！

◆通訳・翻訳ボランティアの登録・紹介について
おおいた国際交流プラザ TEL (097) 533-4021

実現に向けた大分市の取組例

『おもてなし力のアップ』

- ◎看板などの多言語化
- ◎無料公衆無線LANの設置
- ◎ボランティアなどの育成

など…

数値目標

★ラグビーワールドカップ2019
大分開催で設置する交流スペース「ファンゾーン」等への来場者数

目標 50,000人
×
大分市開催試合数
(開催年2019年度)

※「ファンゾーン」等とは
パブリックビューイングでの試合観戦や文化体験などを通じ、国内外からの観客や観光客が交流する場所のこと。

目標② 海外ビジネスにチャレンジしよう



県市合同 中国・武漢ビジネスセミナー



海外向け食品等輸出商談会 in 大分

■大分市の現状

中国武漢市との友好都市関係を生かし、中小企業の武漢市進出をサポートしてきました。加えて2015（平成27）年度には「中小企業販路拡大応援事業」を創設し、世界各地へ進出しようとする中小企業を後押ししています。

■目標に向けて取り組もう！

海外ビジネスに関する情報や、さまざまなビジネスサポート制度を活用し、国内外を問わず活躍する元気な企業になろう！

◆企業の海外ビジネスのサポートについて
大分市創業経営支援課 TEL (097) 537-7014
ジェトロ大分 TEL (097) 513-1868

実現に向けた大分市の取組例

『企業の海外ビジネスのサポート』

- ◎海外向け輸出商談会の開催
 - ◎展示会等への参加に対する支援
- など…

数値目標

★海外への経済交流支援企業数

実績 335件
(2003～2014年度累計)

目標 575件
(2016～2020年度累計)

目標 ③

国際色をプラスし「まち」ににぎわいをつくろう



外国人によるステージ



お祭りへの多国籍屋台の参加

■大分市の現状

「大分七夕まつり」や「大分生活文化展」などに出席している外国人による特色あふれる多国籍料理は異国情趣を醸し出し、イベントににぎわいをもたらしています。また、国際イベントを開催する民間団体への支援も行っています。

■目標に向けて取り組もう！

国際色や外国人の持つ文化や能力を中心部のイベントや地域のお祭りなどにプラスし、新たなにぎわいや魅力を生みだそう！

◆イベント支援事業について (国際イベント)

大分市国際化推進室 TEL (097) 537-5719

(中心市街地でのイベント)

大分市商工労政課 TEL (097) 537-5625

実現に向けた大分市の取組例

『国際色あるイベントの開催促進』

◎国際イベントの開催を支援する「夢アクティブ21 イベント支援事業」のリニューアル

◎イベントへの外国人参加の呼び掛け

など…

数値目標

★外国人が参加したイベント数

実績

16イベント
(2014年度)



目標

20イベント
(2016～2020年度期間の平均)

施策3

国際協力の推進

目標

身近でできる「国際協力」からはじめてみよう



ボランティア活動



国際協力イベント

■大分市の現状

JICA九州との共催により、毎年10月に「おおいた国際協力啓発月間事業」を開催し、大分で国際協力を進める団体の紹介や活動発表の場の支援を行っています。

※JICAとは

開発途上国への国際協力を行う機関。独立行政法人国際協力機構のこと。

■目標に向けて取り組もう！

海外に出て国際協力に取り組むこともできます。また、県内には、世界平和と発展に貢献するため、環境・食糧・教育などの地球環境の課題に取り組んでいる団体があります。まずは、イベントへの参加など身近でできる「国際協力」からはじめてみよう！

◆国際協力に参加してみたい

JICA デスク大分 TEL (097) 533-4021

(おおいた国際交流プラザ内)

実現に向けた大分市の取組例

『国際協力事業の実施及びサポート』

◎「おおいた国際協力啓発月間事業」の内容の充実

◎市民が気軽に参加できる国際協力事業のサポート

など…

数値目標

★国際協力事業のサポート件数

実績

14件
(2014年度)



目標

20件
(2016～2020年度期間の平均)

施策4 多文化理解の促進

目標 国際化、多文化共生イベントに参加しよう



おおいたワールドフェスタ



外国人との料理教室

■大分市の現状

さまざまな国の文化や習慣に気軽にふれられることができるイベント「おおいたワールドフェスタ」を多くの留学生と一緒に開催しています。また、公民館等では外国の料理教室や多文化理解講座などを行っています。

■目標に向けて取り組もう！

これからは、外国人と接する機会が多くなり、文化的な違いを理解し、地域でともに暮らしていくことが必要となります。まずは、国際化や多文化共生に関するイベントや講座に参加し、異文化に触れてみよう！

◆県内の留学生の地域参加について
大学コンソーシアムおおいた
TEL (097) 578-7400

実現に向けた大分市の取組例

『国際イベントへの市民の参加促進』

- ◎「おおいたワールドフェスタ」の内容の充実
- ◎国際化、多文化共生に関する出張講座の開催

など…

数値目標

★国際化、多文化共生イベントへの参加者数

実績 20,538人
(2014年度)

目標 25,000人
(2016～2020年度期間の平均)

施策5 外国籍を有する市民への支援と共生への体制整備

目標 外国籍を有する市民も暮らしやすいまちにしよう



地域の祭りへ参加する外国人



防災訓練へ参加する外国人

■大分市の現状

本市には、2,649人(2016年2月)の外国人が暮らしています。外国籍を有する市民の割合は全国平均と比べても高くありませんが、地域や学校においてはさまざまな問題が起こっています。市では「生活情報ガイド」や「多言語防災ガイド」を作成しホームページなどでお知らせするとともに、国際交流員2名(英語、中国語)を配置し、外国籍を有する市民へさまざまなサポートを行っています。

■目標に向けて取り組もう！

外国籍を有する市民が抱えている、言葉、生活、子どもの教育などの課題や人権問題を、みんなで考え、サポートしていくことで、ともに地域を支える仲間として暮らしていこう！

実現に向けた大分市の取組例

『外国籍を有する市民へのサポート』

- ◎国際交流員による生活サポートの充実
- ◎留学生などへの生活オリエンテーションの実施
- ◎日本語の学習支援が必要な子どもへの初期対応

など…

数値目標

★外国籍を有する市民への生活オリエンテーション等の実施数

実績 35件
(2014年度)

目標 50件
(2016～2020年度期間の平均)

大分市の海外の姉妹・友好都市を紹介します



姉妹都市

ポルトガル共和国 アベイロ市

1978

本市は、16世紀半ばの大友宗麟の時代からポルトガルとの交流が盛んに行われ、西洋文化が開花しました。このような歴史的背景を踏まえ、1978(昭和53)年10月10日に、アベイロ市と姉妹都市の提携を結び、2013(平成25)年には35周年を迎えました。これまで、音楽やダンスなどを通じた文化交流を行ってきましたが、2015(平成27)年7月には大分市の中学生サッカー訪問団がアベイロ市を訪問し、交流試合やホームステイを通じた青少年交流が行われました。



大分市中学生サッカー選抜チーム
アベイロ市派遣



友好都市

中華人民共和国 武漢市

1979

1974年より武漢鉄鋼コンビナートの近代化プロジェクトにより、湖北省の省都である武漢市から延べ200人の技術者が本市に長期間滞在し、また本市からも数多くの技術者が武漢市に派遣されるなど、市民間の往来が次第に頻繁になったことが契機となり、1976(昭和51)年、大分市長が武漢市を訪問し友好都市締結の申し入れを行い、1979(昭和54)年9月7日、正式に友好都市締結の調印式を行いました。大分市と武漢市は文化、経済、青少年などさまざまな分野で活発に交流を行っています。



武漢市との学校交流事業



姉妹都市

アメリカ合衆国 オースチン市

1990

大分県で日本テキサス会議が開催されるなど、大分県とテキサス州の交流が活発であったことに加え、州都であるオースチン市とは産業・文化面で類似していることから1990(平成2)年10月30日に、姉妹都市の提携を行いました。これまで、音楽などを通じた交流を行ってきましたが、2016(平成28)年2月にはオースチンマラソンに大分市の選手が参加し、レースやホームステイを通じた交流が行われました。



姉妹都市提携25周年記念
鐵心太鼓のオースチン公演